



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 3 スリーエム仙台市科学館  
社会教育指導員 石川 歩さん



普段は、ボランティアスタッフと一緒に、体験コーナーで科学工作や実験を行っています。お客様の科学に触れた瞬間の驚きの表情を見ることができた時、達成感や嬉しさを感じます。とはいえ、遠足等で来館する大勢の子どもたちと夢中になって接していると、汗だくになって声が枯れてしまうこともしばしば。そんな時は、屋外の自然観察デッキへ。デッキから隣接の台原森林公園を眺望し、空の色、森の香り、虫の声、季節の風を体感しながら呼吸を整えます。でも、逆に森(鳥の声)に誘われてしまうこともあり、翌朝は早起きして科学館周辺を散歩します。

ある朝、館長室の前の木にアオゲラ(キツツキの仲間)がやってきて、幹をコンコンと叩いていました。窓の中の館長はまだこのアオゲラの存在に気づいていないだろう、そして、アオゲラは私の視線に気づかず食事を続けている・・・、自分だけの観察の時間を満喫しました。

研究室では、「駐車場にハクセキレイの巣を見つけたよ」、「昆虫を探していたらコジュケイの親子に遭遇したよ」、「見慣れない白い鳥がたくさん飛んで来たよ」など、科学館周辺の鳥情報が飛び交うことがあります。身近な自然の情報を整理して、いつかお客様にご紹介し、発見の喜びを共有できたらと思っています。



10月27日(金)～1月24日(水) ※12月28日から1月4日は休館  
小企画展「昆虫標本展～高橋雄一コレクションと宮城の絶滅危惧種～」



SMMAとは  
知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるおきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をいただけるウェブサイトです。

www.smma.jp



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)  
電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp  
編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2017年11月21日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。  
この紙はリサイクルできます

# 2017冬号 旬の見験楽学便



## ミュージアム de ブレイクタイム

### SPOT セルコホーム ズーパラダイス八木山

2017年7月にオープンした「ふれあいの丘」は、動物たちとふれ合える体験ができる「ふれあい館」、レストラン「グーゲーテラス」からなる注目のエリア。かわいい動物たちと過ごす時間で癒しのひと時を過ごしてみは?

#### ふれあい館

動物たちをより身近に感じられる、さまざまなイベントを毎日実施。おやつをあげたり、お世話したりしながら、直接ふれ合うことができる、おたのしみスポットです。



- おやつをあげよう ヤギ11:30～、ウサギ13:30～ ※1カップ100円、なくなり次第終了
- ふれあいタイム ウサギ 10:30～11:00  
モルモット 14:00～14:30  
ヤギ・ヒツジ 10:00～11:30  
13:30～15:00



- フリーフライト 13:00～ 「フリーフライト」では、風によって飛ぶルリコンゴウインコの姿を目の前で見ることができます

#### グーゲーテラス

本格ピザやパスタ、しろくまモチーフのランチプレートなどのメニューを味わうことができるレストラン。コーヒーなどのドリンク、園内初の生ビールやワインのアルコール提供もあります。食券機脇の物販コーナーでは、飼育員が動物たちの落とし物などを活用して作ったオリジナルグッズを販売。ユニークなアイテムに出合えます。

■営業時間/10:30～16:00(食事は11:00～15:30)



▶「蔵王モzzarellaチーズのマルゲリータピザ」800円  
程よい酸味のフレッシュなトマトソース、ミルクでコクのあるモzzarellaチーズがたっぷり。モチモチの生地でお腹も満足な一枚



▶「ヤギさんチョコパフェ」480円  
アイスの頂きにかわいいヤギのクッキーがちょこんと鎮座。クッキーは一枚一枚レストランで手作りされています



◀シカの角のネックレスやレッサーパンダがかじった竹のストラップ、キリンがかじった枝のストラップなど、動物のおすそわけをお土産にどうぞ



### 菊地公一 (1941～)

昭和16(1941)年仙台市生まれ。昭和39(1964)年東北大理学部卒業、昭和44(1969)年東北大学院理学研究科博士課程修了、東北大理学部助手・助教授を経て平成6(1994)年に北里大学教授に。北里大学名誉教授、東北福祉大学特任教授。2013年に開館した鉄道模型館館長に就任し、現在。



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

#### リタイアしてからのめりこんだ 魅惑の鉄道模型の世界

2006年に退職し、何か新しい趣味を…とたどり着いたのが幼少から目にしてきた鉄道模型の世界。“こう走らせたらおもしろいだろうな”と考えて作っていくことに魅力を感じ、あっという間に自宅の8畳の客間をレイアウトで一杯にしてしまいました。その後、2007年に開館した東北福祉大学・鉄道交流ステーション展示室のNゲージ(レール間隔9mm、縮尺1/150)模型の改造やメンテナンスに携わるように。

#### 子どもたちを笑顔に 先輩の遺志を受け継いで

菊地さんが館長をつとめる鉄道模型館の誕生は、大学の先輩である松本歯科大学教授・故盛田正治理学博士が収集していたドイツ・メルクリン社の鉄道模型の寄贈がきっかけ。盛田博士が夢見ていた子どもたちと一緒に楽しめる模型館づくりを受け継ぎ、菊地館長が設計・制作したのが現在の鉄道模型館です。地上線のみならず、ループ線、登山線など、作り続けたレールは総延長350mに。「まだまだ試したいことがいっぱい」と、尽きることのない探求心が世界に一つしかない場所を生み出しています。



▲電気方式の異なるヨーロッパ車両(交流式)と日本車両(直流式)が並んで走行



▲25回のスイッチバックを繰返す登山線

#### ここでもっと知る!

東北福祉大学 鉄道交流ステーション 鉄道模型館(TFUスカイトレイン)  
〒981-8501 仙台市青葉区国見1-19-1 ステーションキャンパス館3F  
☎ 022-728-6612  
🕒 10:00～16:00(模型館は11:00～16:00)  
※模型館は企画展開催週の土曜のみ開館  
🗓 日・月曜、祝日、大学の定める休業日  
🆓 入館無料

# 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館

## 知る人ぞ知る、 建物に隠れた福の字



▲2号館の5階付近の外壁をチェック!



▲1960年頃の型紙。東ねん斗文の中に隠れ裏・笠や宝袋、打出の小槌など宝尽くしの文が多数!

▲藍に鮮やかな朱が映える装幀デザイン「正月三ヶ日/川端康成」

〒仙台市青葉区国見1-8-1 ☎022-717-3318 開 10:00~16:30(入館は16:00まで)  
休 日曜、祝日、11/22~26、12/23~1/9、1/12~14 入 一般300円、大学・専門学校学生200円

これからのイベント

10月3日(火)~2月1日(木)  
芹沢銈介コレクション「インドネシア 島々の絆」  
※同時開催「芹沢銈介の装幀本」  
「芹沢長介収集品紹介—そば猪ロー—」  
※12月23日から1月9日は休館



# 福島美術館

## 幸福を願う 福島家コレクション



▲東日本大震災の際倒れたけれど神棚から落ちなかった光雲作の観音像。転んでも「落ちない」観音様で合格祈願を!



▲中林梧竹筆「朱画遠藤」。ユーモラスな赤いだるまは見ての通り心で和み、元気に



▲美術館のキャラクター「福じい」のオリジナルデザイン(紋ざり)

館名にも「福」がある福島美術館が収蔵する美術工芸品には、おめでたいものや幸福・子孫繁栄を願った題材のものがたくさんあります。新春吉例の企画展「めでた掛け」で展示される掛け軸や調度品をはじめ、近代の仏師・高村光雲作の「聖観音立像」など、幸福を個人所有でなく、多くの人と共有するために寄付された福島家のコレクションは必見です。また、館内には七福神の一人である布袋様をモチーフにした美術館のキャラクター「福じい」の紋切りが隠れています。7つ見つけたら、ラッキーセブン!ぜひ探してみてください。

〒仙台市若林区土樋288-2 ☎022-266-1535 開 9:00~16:30  
休 月曜、第1日曜、祝日の翌日 入 常設展100円、企画展一般400円、学生・70歳以上300円

これからのイベント

1月5日(金)~3月3日(土)  
新春吉例「めでた掛け~美術館で笑い初め~」  
※12月28日から1月3日は休館

# 仙台文学館

## 思い思いの おめでたい年賀状



▲年賀状は1月5日まで募集中。絵手紙や心に残っている本、おすすめの一冊などを書いてぜひ応募を



▲池で羽を休める白鷺の姿はとても美しいと学芸員も絶賛

2003年から恒例企画として実施されている「100万人の年賀状展」は、広く一般から年賀状を募集して、寄せられた作品を展示する企画。干支や縁起物などのイラスト、自作の詩や好きな作品の主人公へ宛てた手紙など個性的な年賀状が展示され、新春を華やかに彩ります。また、文学館から山原森林公園へ続く散策路では、運が良ければ野生動物の姿を見ることが出来ます。1~2月は見た人を幸せにするといわれる神聖な鳥・白鷺に出会えるかも!?

〒仙台市青葉区北根2-7-1 ☎022-271-3020 開 9:00~17:00(展示室入室は4:30まで)  
休 月曜(祝日の場合は開館)、休日の翌平日、1~11月の第4木曜  
入 一般460円、高校生230円、小・中学生110円

これからのイベント

12月16日(土)~4月8日(日)  
企画展「井上ひさし資料特集展 Vol.7」  
1月10日(水)~2月12日(月・祝)  
新春ロビー展「100万人の年賀状展」  
※12月28日から1月4日は休館



# 東北学院大学 博物館

## 人々の心に寄り添う あたたかな版画



▲美しい色刷りの版画は海外からも高い評価を得ています



▲土器に描かれた4つの顔がそれぞれ囁く思わずドキッとさせるイケてるセルフを聞いて「推しメン」に投票。彼氏・彼女ができるご利益があるかも?

〒仙台市青葉区土樋1-3-1 ☎022-264-6920 開 9:30~17:00  
休 日曜、祝日、大学の定める休業日 入 一般200円

これからのイベント

11月25日(土)~3月31日(土)  
企画展「勝平得之の民俗版画と雪の民具」



# 仙台市歴史民俗 資料館

## 仙台の伊達な 青いだるまさん



大きな輪が入っているのは、四方八方を見渡し、家内安全、子どもの健やかな成長を願うため



▲常設展示の囲炉裏がある部屋の棚上にもだるまさんが。昔は七転び八起きにあやかって8体並べている家庭も多くありました

〒仙台市宮城野区五輪1-3-7 ☎022-295-3956 開 9:00~16:45(入館は16:15まで)  
休 月曜(祝日の場合は翌日)、第4木曜 入 一般・大学生240円、高校生180円、小・中学生120円

これからのイベント

11月18日(土)~4月15日(日)  
「Winter Life in Sendai—仙台の冬のくらし—」  
※12月28日から1月4日は休館

ミュージアムで出合える、めでたいものから見つけたらラッキーなものまで、「福」を感じる事柄をご紹介します。残りわずかな一年と、新年を楽しく幸せに迎えられるよう、ちょっとユニークで楽しい視点からミュージアム巡りを楽しんでください。

# 東北大学 総合学術博物館

## 中国の身を守る貨幣、 日本の福を呼ぶ貨幣



▲中国の黄銅製まじない銭「山鬼雷符」(左・梅津八蔵寄贈)、江戸時代の楽銭「祇園寶船」(右・新沼哲夫寄贈)



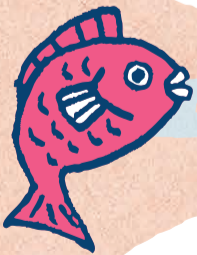
▲館内のラッキー展示物で今年の運勢を占う「標本館おみくじ」。おみくじは1月限定の配布。※画像は2016年のおみくじです

博物館所蔵の旧金属博物館資料の貨幣「山鬼雷符」は中国の道教の雷除け。身を守り、幸運がおとずれる護身用のまじない銭として伝えられており、表に道教の厄除け呪文、裏に八卦が鑄込まれています。もう一つ珍しいものが、江戸時代の楽銭「祇園寶船」。楽銭とは神社の賽銭用に参拝者が購入したり、賭場でチップのように使われたりした貨幣のこと。裏に梅や松、天神が刻まれたおめでたい貨幣は一見の価値ありです!また、新春は学生とみちのく博物館楽団によるおみくじ企画を実施。運勢と展示資料の案内が描かれたおみくじで新年の運試しを!

〒仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 ☎022-795-6767 開 10:00~16:00  
休 月曜(祝日の場合は翌平日) 入 一般・大学・高校生150円、小・中学生80円

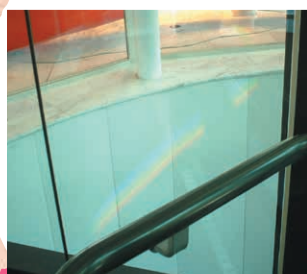
これからのイベント

2018年2月14日(水)~4月15日(日)  
企画展「県の石展」(仮称)  
(スリーエム仙台市科学館にて)



# せんだいメディアテーク

## 館内に現れる、幻想的な虹



緑が生い茂るケヤキ並木を映す、全面ガラス張りのシンボリックな建物のせんだいメディアテーク。お天気の良い日の午前中には、1階南側の休憩スペース付近に、美しい虹が現れます。天候と時間帯がマッチしたときにだけ見ることが出来る幻想的な虹を見ると、スタッフは幸せな気分になるそう。晴れた日にはぜひ足元を探してみてください。

〒仙台市青葉区春日町2-1 ☎022-713-3171 開 9:00~22:00 ※一部サービスは異なる  
休 第4木曜(12月を除く) 入 館無料

これからのイベント

11月3日(金・祝)~12月24日(日)  
コンニチハ技術トシテノ美術

ミュージアムスタッフ間でささやかれているラッキーアイテムを探せ!

# せんだい3.11メモリアル交流館

## レアな生き物を見つけよう



正面入り口に展示してあるメダカの水槽の中に、交流館裏の用水路で捕まえたスジエビを2、3匹一緒に入れて飼育中。スジエビは体が透き通っていて見つけづらく、なかなかお目にかかれないレアキャラ。スタッフもエサやりの際に偶然スジエビを見かけると「お、今日はいいことあるかも…」という気分になるのだとか。

〒仙台市若林区荒井形85-4 地下鉄東西線荒井駅内 ☎022-390-9022  
開 10:00~17:00 休 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌平日 入 見学無料

これからのイベント

11月7日(火)~1月28日(日)  
企画展「仙台市宮城野区蒲生字町87」  
12月29日から1月4日は休館